

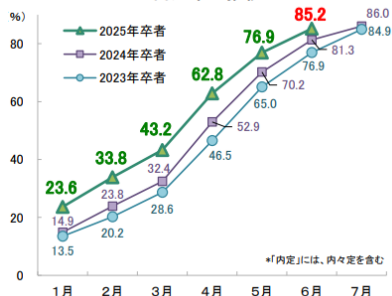


6月1日時点の内定率は 85.2%

Pick Up-1 前年同期実績（81.3%）を 3.9 ポイント上回る（ディスコ）



<内定率の推移>



※各月1日時点

※出典：キャリアタス就活 学生モニター2025 調査結果
(2024年6月発行)

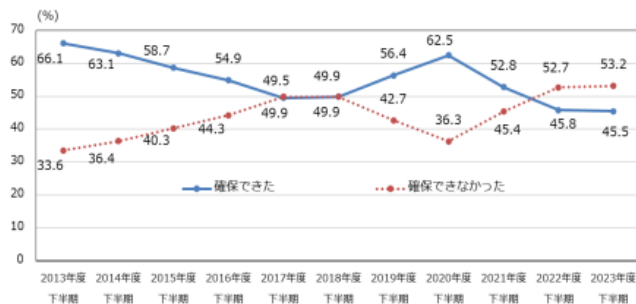
6月1週目に新卒採用メディア各社から内定率関連のデータが開示されました。主要4社（リクルート・マイナビ・ディスコ・学情）で最も高いのがディスコ社の発表で85%、最も低いのがマイナビで74%。前年比は3~4%程度上回る結果となりました。

個人的に気になったデータは、入社意思の最も高い企業の従業員規模に関するデータです。就職みらい研究所では前年からあまり変わらないものの、マイナビの調査では中小が減り、大手が増える結果となっています。マイナビが主要メディアとなり、主要メディアでは大手志向の割合が高いという仮説も持てるのかもしれませんが。

中途採用実態調査 - 必要な人数を確保できなかった企業の割合は過去最高値 - (リクルートワークス研究所)



■中途採用：必要な人数の確保状況(経年比較)



※出典：中途採用実態調査

(リクルートワークス研究所 2024年6月6日)

新卒採用マーケット同様、中途採用も過熱しています。

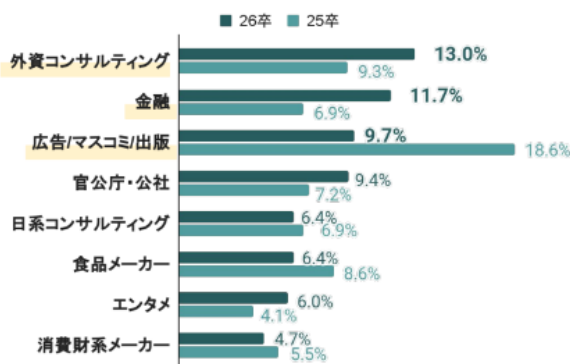
2013年度以降の調査で中途採用で必要な人員の確保が出来なかった企業が53%を越えたとの事です。

加えて、次年度に中途割合を増やす企業が新卒割合を増やす企業を上回ったという調査結果も出ています。

さらに採用意欲の高いのは大手が中心となっており、中途採用でも求職者の大手志向が高まっていく要素となりそうです。

Pick Up-3 26卒 早期活動層で志望業界に変化（エンカレッジ）

【文系】第一志望業界TOP8



※出典：エンカレッジ社 26卒調査レポート

採用メディア毎に属性の違いが大きく出ますが、主に上位校を対象にした学生の利用率が高いエンカレッジが26卒の学生に調査した結果、文系ではコンサル・金融の志望割合が高まっていました。傾向としては年収が高く、成長が見込める環境であるという点が大きいのという予測でした。

処遇はもちろん、自社にどのような成長機会があるのかを整理し、伝えていく事はこれまで以上に重要になりそうです。